

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ツクルKids		
○保護者評価実施期間	2025年 2月19日		2025年 3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 2月18日		2025年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方へのフィードバック	療育終了後に保護者様一人ひとりに時間をとっていただき、その日のお子様の様子を伝達している。また毎回記入している活動記録も翌月にメールで保護者様へ共有している。	今後もお子様のことにに対して一緒に共通認識を持っていけるように日々の関わりを継続し、保護者の方向士も関わり合いが持てるようにイベントも開催していきたいと思う。
2	子どもが参加しやすい小集団活動の構築	集団が苦手なお子様にも参加してもらいやすい人数に設定したり、特性や学年に合わせ必要に応じてグループ分けを行っている。	集中しやすい環境設定を継続し、子ども達が力を養いながらも面白い・楽しいと感じられる課題の作成・提供を行なっていく。
3	子どもの自主性と自信を育む療育	タイピングの後には何をするのか・何を目的とするのか子ども達に決めてもらうことで自主性を育んでいる。目標達成にはどういう過程が必要なのか先を考えられる療育を意識している。また目標達成時には賞状をお渡ししたり、作品を掲示したりと達成感を得られる環境設定も行なっている。	子ども達の興味関心が広がる課題の提示や選択の幅を広げていけるように職員の視野を広げ新しい課題を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の小学校や地域の方との交流が少ない	祝日は休業日であり、またイベントを平日に開催しても利用者との時間帯が合わず交流に至っていない	長期休暇を利用したり、イベント内容の見直しを行ない、開催に繋げていきたい
2	ペアレントトレーニングの実施や保護者の方向士の交流をもつ機会が少ない	開催数がまだ少なく、定期的に実施が行えていない。	開催頻度の増加、保護者様からの要望を汲み取り開催に繋げていきたい
3	各マニュアルの周知徹底	契約時に地震や津波の際の対応案内については説明を行なっているがその他マニュアルの周知ができていない。	各マニュアルについてHPで公表をおこなったり、案内を強化していく